

わが家のアイドル



なか ま けい

仲間 慶

平成25年8月13日生まれ
母：美千代
父：広孝（字津嘉山）

いっはい笑って
大きくなってね

わが家のアイドルコーナーでは、満3歳までのちびっ子を募集しています。掲載の写真はお返しします。総務課広報担当までご連絡ください。

☎889-4415

歯を大切に。デンタルフェア開催♪

歯の衛生週間の一環として、第38回デンタルフェアが6月8日、県南部の各地で開催されました。島尻会場のちむぐく館には、町内外から多くの親子が参加しました。歯の健康相談コーナー、歯みがき指導コーナー、歯医者さん体験コーナー、大人の健康相談コーナー、お口の細菌観察コーナー等があり、参加者は歯と口の健康づくりについて学びました。町内から参加した仲村江菜さんは、「（歯みがき指導を終えて）お家でもできそうなので頑張りたいです。」と話していました。



歯みがき指導を受ける子供達の様子

へちまを食べよう!! サンエー津嘉山シティではえばる美瓜PRイベント

6月22日にサンエー津嘉山シティで、「楽しく・食育・美しく!へちまを食べよう!はえばる美瓜」と題した南風原町産へちまのPRイベントが行われました。イベントでは、へちまの試食販売のほか、南風原町の小学生ユニットBEAURY'Sによるダンスや、南風原町の管理栄養士によるクイズを交えた『野菜ってなぜ大事?』講座、はえるん率いるやさいの仲間達によるオペレッタなどが行われました。また、展示コーナーでは、へちまを使った料理やそのレシピなども紹介されました。今年の夏は夏バテ防止に美瓜をのせた冷やし中華やへちま麻婆などはいかがでしょう。



へちまはどの種類の野菜かな? ★正解は…淡色野菜!!

「琉球絃」を学びます!!

琉球かすり会館で7月1日、平成26年度琉球絃後継者育成事業の開講式が行われました。この事業は昭和55年から続いており、今年は町内外から11名が参加します。開講式で琉球絃事業協同組合の野原八重子代表理事は、「ものづくりの大切さを学び、できあがった時の達成感を感じ、精一杯頑張ってください。」と激励しました。参加者らは、来年2月までの約8ヶ月間の間に、琉球絃のデザインや染色、製織、花織り等を学んでいきます。



開講式に参加した講師や受講生、来賓の方々

第56回水道週間 図画コンクール 南風原町から28作品が受賞!!

6月1日～7日の水道週間にちなみ、南部水道企業団が小・中学生図画コンクールを開催し、その受賞式が6月13日に行われました。このコンクールは水についての理解と関心を高めてもらうことを目的としており、南風原町・八重瀬町の小・中学校から190作品の応募があり、40作品（本町から28作品）が受賞しました。小学校低学年の部で企業長賞を受賞した伊佐美優さん（南風原小1年）は、「水を大切にしようというテーマで書きました。来年も応募したいです。」と話しました。



小学校低学年の部で企業長賞を受賞した伊佐美優さんとその作品

南斎場が完成しました。

南風原町を含む南部6市町が共同で進めていた南部広域市町村圏事務組合 南斎場がこのほど完成し、6月21日に落成式典が行われました。南斎場は現豊見城火葬場裏手に位置し、火葬炉6戸、告別室2室、収骨室2室を備えた施設で、6月26日から運用開始しています。火葬使用料金等、詳しくは南部広域圏事務組合 南斎場（豊見城市豊見城925）☎851-0373までお問い合わせ下さい。



6月26日から運用開始している南斎場

はえばるNEWS

農業青年クラブイクメン料理教室

南風原町農業青年クラブでは、宮平保育所や幼稚園で畑作りの手伝いなど食育活動を行っています。しかし、「子どもの意識だけを変えるだけでなく、普段料理する機会の少ないお父さんの意識も変える事でより良い食育活動ができるのでは。」と提案があり、今年度は新たに園児だけでなくお父さんをターゲットに7月6日、町立中央公民館にてイクメン料理教室を開催しました。5名の野菜ソムリエを講師に依頼し、6組の家族が参加しました。参加した園児からは「お父さんと料理するのが初めてで楽しい!」と普段台所で接する機会の少ないお父さんとの料理教室を楽しんでました。



農業青年が作った野菜を料理し、いただきました。

少年の主張南風原町大会 中学生が日頃の考えを発表しました

第22回少年の主張南風原町大会が7月11日、中央公民館で開催されました。本大会は、中学生が日頃考えていることを社会に訴えることにより、同世代の少年が社会の一員としての自覚に目覚めることを期待すると同時に、少年の健全育成に対する一般の理解と協力を深めることを目的に行われています。

今回は、南星中4人、南風原中4人の計8人が参加し、いじめや平和など日頃感じている様々なことを発表し、「将来の夢」について発表した南星中3年の屋嘉比尚子さんが優秀賞を受賞し、第29回「少年の主張島尻地区大会」に南風原町代表として派遣されます。



優秀賞を受賞した南星中3年の屋嘉比尚子さん

随筆集『はえばる』 記念すべき第20号(成人号) 発行

はえばる随筆クラブ（村田用二会長）が毎年発行している随筆集『はえばる』が成人号となる第20号（B6版298ページ）が発行され、出版祝賀会が6月14日、ちむぐく館で開かれました。随筆集は、会員らが日頃何気なく感じたことや体験したことなどが綴られているほか、町民を取り上げた新聞記事なども多数掲載しています。村田会長は、「創刊号は『3かく』（字をかく、汗をかく、恥をかく）でスタートし、『はえばる』となりました。集大成ということもあり、昔の写真なども重ねて掲載しています。会員の頑張りもあり、1回の休刊もなく、第20号を迎えることができました。」と記念すべき第20号発刊の喜びを語りました。



発行を祝うはえばる随筆クラブ会員と関係者ら

6.23慰霊の日企画 「飯上げ」体験が行われました。

戦時中に行われた「飯上げ」を実際に体験することで平和について考える「飯上げ」体験が6月23日、文化センター主催で開かれました。

最初はDVDを鑑賞し、当時の様子や戦争体験者の話、飯上げとはどのようなものかを学びました。その後、黄金森にある飯上げ道を食糧を詰めた一斗樽を天秤棒で担いで運ぶ、「飯上げ」を体験しました。前日が雨だったこともあり、道はぬかるんでいて大変険しい状況でした。参加した島袋十史樹さん、喜々さん親子は、「生の体験をする場にできてよかった。（飯上げ体験は）平坦な道ではなかったので、イメージしていたよりきつかった。」と話しました。



飯上げ体験の様子